

令和2年度 つかいみちを選べる赤い羽根募金 活動団体エントリー申請内容

【エントリーNo. 1】

法人・団体名	特定非営利活動法人 iitoko (平成26年5月団体設立、30年10月法人化)	
設立目的	子どもや子どもを取り巻く大人に対して、孤立防止及び子育て支援に関する事業等を行い、地域の活性化と福祉の向上に寄与する。	
活動内容等	子どもや子育て中の母親又は家族、地域の人々の心休まる居場所を提供する。子どもの発達に関する相談、情報提供、イベント・研修等実施。(年間支出規模 272 万円)	
解決したい課題	障害児を育てる母親や家族への理解を深め地域(学校、施設、店、隣近所等)と連携し、特に母親(家族)の孤立化を防ぐ。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 安心して集える居場所(拠点)の存続 地域、学校、行政、企業等の繋がりを深めるとともに、障害理解を促す勉強会やイベントを開催する。 活動継続にあたり感染症予防策の徹底を図る。 	必要金額(概算)
		おおよそ 50万円

【エントリーNo. 2】

法人・団体名	ビーイング (平成27年7月団体設立)	
設立目的	ひきこもり状態の当事者や家族を孤立させず、地域の支援者が寄り添い、応援し、社会参加につなげることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを行う。	
活動内容等	家庭訪問支援、相談業務、家族会、居場所の提供、就労体験、就労支援 (年間支出規模 142 万円)	
解決したい課題	ひきこもりに対する市民の理解促進、いわゆる“グレーゾーン”の人を繋げる機関がない、ボランティアスタッフ不足など	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりへの理解促進のための講演会の開催。 地域の企業や住民等へ活動を周知し、就労や資金提供などの協力を依頼。 支援スタッフが活動しやすい環境づくり(勉強会など) 	必要金額(概算)
		おおよそ 30万円

【エントリーNo. 3】

法人・団体名	高次脳機能障害者と家族と支援者の会 NPO 法人ノーサイド (平成19年4月設立)	
設立目的	高次脳機能障害に対する理解を深め広く一般に啓発し、高次脳機能障害者や家族への援助を行う。	
活動内容等	高次脳機能障害に関する情報収集・情報交換、広報、普及活動、当事者や家族に対するピアサポート事業など (年間支出規模 33 万円)	
解決したい課題	家族は当事者を抱えリハビリなどの通院や介護に毎日追われ、受けられる支援などの情報収集もままならない。必要な支援にたどり着いていないのが現状。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 当事者を抱えて前橋まで足を運べない方々のために、家族懇談会を各地域に出向いて開催する。 行政、施設、病院などの協力を得て、細やかな相談にも対応。 高次脳機能障害の周知啓発のためポスター配付等を実施。 	必要金額(概算)
		おおよそ 15万円

【エントリーNo. 4】

法人・団体名	群馬県ホームヘルパー協議会 (昭和46年8月設立)	
設立目的	自らの職務能力と職業倫理の向上を図るとともに、ホームヘルパーの社会的地位の向上を図る。	
活動内容等	在宅福祉サービスの提供及び利用者の権利擁護のための研修会、調査研究、普及啓発、関係機関等との連携など (年間支出規模 867 万円)	
解決したい課題	会独自で創設した「認定介護技術トレーナー」による地域の介護者等への介護技術の普及。人材確保及び定着の促進。在宅医療介護連携推進事業への参画。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・介護する地域住民等に対し、市町村・自治会町内会・事業所等と連携して、利用者の状況に応じた介護技術講座を開催。 ・Web等を活用した啓発活動を行い、人材確保と定着を図る。 ・トレーナーの資質向上のための研修会の開催。 	必要金額(概算)
		およそ 80万円

【エントリーNo. 5】

法人・団体名	NPO法人 学習塾HOPE (平成24年1月団体設立、28年5月法人化)	
設立目的	学習意欲がありながら生活困難等により学習の機会に恵まれない児童・生徒を対象として、無料で学習指導を行いつつ、子どもたちに寄り添う。	
活動内容等	小中学生・高校生に個別学習を基本とする無料学習指導を行う。また生徒への人間教育、保護者の相談援助、講師研修会等も行う。 (年間支出規模 181 万円)	
解決したい課題	いわゆる「貧困の連鎖」を防止する。学習指導を通じて生徒が将来に希望を持てるように支援する。居場所づくりに工夫を加え、生活困窮支援の一助とする。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・入塾料、授業料を無料とし、教材の負担も軽減する。 ・学習に加え、人づくり支援についても指導方法を工夫する。 ・対象となる子がいる地域に教室を根付かせるよう努める。 ・居場所づくりのため「食育」と「学習」との連携を工夫する。 	必要金額(概算)
		およそ 45万円

【エントリーNo. 6】

法人・団体名	あんなか兄弟姉妹会ケセラセラ (平成29年4月設立)	
設立目的	精神疾患を患う兄弟姉妹をもつ方々のピアサポートの場所として活動を開始。	
活動内容等	ピアサポートの場所の提供、リカバリーカレッジあんなかの企画運営 (年間支出規模 19 万円)	
解決したい課題	精神疾患を抱える当事者やその家族が孤立することなく、地域住民とともに互いに信頼し合いながら生活できる社会の実現のためにはどうすればよいか。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患についての正しい認識を広く地域社会に伝えていく。 ・リカバリーカレッジでの活動を通してさまざまな立場の人が真に協働する場をつくることで、互いを尊重し合社会の足掛かりにする。 	必要金額(概算)
		およそ 15万円

【エントリーNo. 7】

法人・団体名	特定非営利活動法人 カウンセリング&コミュニケーション・ミュー（CCM） （平成18年2月設立）	
設立目的	一般市民への導入的教育として、心理学、カウンセリング、人間福祉学の継続的な学習と、学習した知識を活かしてコミュニティ支援を行う。	
活動内容等	育児相談、親子のグループカウンセリング、不登校・ひきこもりの家庭訪問、居場所運営、高齢者グループカウンセリングなど （年間支出規模 3,161 万円）	
解決したい課題	不登校・ひきこもりの問題は解決の見通しが立たない社会問題。他者とのかかわりが少ないことによる自身の有能感の獲得ができず進路のイメージができない。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「リカバリー・カレッジ-小神明-プロジェクト」を運営し、自宅以外の居場所の提供と社会参加の準備の支援を行う。 ・本人が主体性をもって自己決定していくことを、カウンセリングとストレングスモデルの概念を基底に支援する。 	必要金額(概算)
		およそ 30万円